

研究の実施に関する情報公開

令和5年 4月 6日

鹿児島医療センターでは、倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

全身性トランスサイレチン心アミロイドーシスにおける正中神経断面計測の有用性の検討

1. 研究の対象

2020年4月1日から2023年3月31日までに全身性トランスサイレチン心アミロイドーシスと診断された方
2020年4月1日から2023年3月31日までに全身性トランスサイレチン心アミロイドーシスを否定された方

2. 研究目的・方法・期間

【研究目的】

全身性トランスサイレチン心アミロイドーシスの主な障害臓器は心臓であり、心アミロイドーシスと診断された場合の平均生存率は46.69ヶ月、5年生存率は35.7%と致命的な疾患です。心エコー図検査で心アミロイドーシスを疑う所見が複数挙げられていますが、鑑別に苦慮することも多くあります。全身性トランスサイレチン心アミロイドーシスは心臓に7年先行して腱や靭帯にアミロイド沈着が起こり手根管症候群を発症すると言われていています。手根管症候群はエコーで診断可能であるとされています。従って、正中神経断面を評価することにより全身性トランスサイレチン心アミロイドーシス鑑別の1つとなることが期待されます。

【方法】本研究は、全身性トランスサイレチン心アミロイドーシス患者様と非全身性トランスサイレチン心アミロイドーシス患者様の正中神経断面を超音波検査装置で計測し比較を行います。

【期間】倫理審査委員会承認後から2024年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、カルテ番号、画像検査 等

4. 外部への試料・情報の提供（複数施設研究の場合記入）

なし

5. 研究組織（複数施設研究の場合記入）

なし

6. 研究に関する利益相反について

本研究に関して報告すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

鹿児島市城山町8番1号 鹿児島医療センター

TEL 099-223-1151 FAX 099-226-9246

研究責任者 国立病院機構鹿児島医療センター 臨床検査科 日野出 勇次